



町長 支援策を充実させることは必要である。いろいろな点を検討して取り入れていきたい。

町長 起業をはじめ各事業で研修をさせ、失敗しても挑戦できる青年就農給付金制度のようなサポートが必要である。先進地での成功例を参考にしながら今後検討してほしい。

町長 住宅取得支援の補助を賀茂郡下では当町と南伊豆町で行っている。UIJターン事業については、近隣市町では助成していない。起業支援については、青年就農給付金を全ての市町で行っている。

町長 自主防災会との間

の。 町長 自主防災会との間

町長 平成21年に簡易トイレを購入し、各避難所へ配備をしている。今後は避難所になっている小学校のトイレの洋式化を行っている。

町長 避難所の運営がスムーズにできるようなルールは決められているのか。



西塚孝男議員

### 答 女性や子供のための福祉避難所の設置を考えている

### 避難所のルールはできているか

で避難所の受け入れ態勢、配置などをどうするかなどの実地訓練や、避難所運営ゲーム(HUG)を使った図上訓練を行っている。また、女性や子供に配慮して、福祉避難所的なものの設置を考えている。



町長 お試し居住施設を利用した人に対しては、この町の文化や歴史をレクチャーしてから、町内施設の案内、不動産業者を紹介している。その際に、この町での生活の特

町長 町外から我が町に移住してくる人に対して補助金が出るが、町内に住んでいる人達が土地、家屋の取得する時の補助金は無いのか。

町長 町内在住者への助成制度は現在行っていない。しかし、若者や子育て世代の町外への流出を食い止め、定住を促進するために、住宅取得の費用に対して助成する制度を、新年度から準備しているところである。

町長 移住者に対して地域ルールをどう伝えてかつ守らせるのか。

町長 平均的な職員の休日出勤手当はいくらか。

町長 平均年齢43歳で、1時間あたり2746円。

町長 後援をするかしないかの基準が定められているのか。

町長 後援については、町の方針に合致したものにしている。町の活性化のためイベントが軌道に乗るまでは応援したい。

町長 平均的な職員の休日出勤手当はいくらか。

町長 平均年齢43歳で、1時間あたり2746円。

町長 後援をするかしないかの基準が定められているのか。

町長 後援については、町の方針に合致したものにしている。町の活性化のためイベントが軌道に乗るまでは応援したい。



町長 町内在住者への助成制度は現在行っていない。しかし、若者や子育て世代の町外への流出を食い止め、定住を促進するために、住宅取得の費用に対して助成する制度を、新年度から準備しているところである。

町長 移住者に対して地域ルールをどう伝えてかつ守らせるのか。

町長 平均的な職員の休日出勤手当はいくらか。

町長 平均年齢43歳で、1時間あたり2746円。

町長 後援をするかしないかの基準が定められているのか。

町長 後援については、町の方針に合致したものにしている。町の活性化のためイベントが軌道に乗るまでは応援したい。

町長 平均的な職員の休日出勤手当はいくらか。

町長 平均年齢43歳で、1時間あたり2746円。

町長 後援をするかしないかの基準が定められているのか。

町長 後援については、町の方針に合致したものにしている。町の活性化のためイベントが軌道に乗るまでは応援したい。

### 命を守る要は住宅の耐震化だ

### 答 県の補助金制度を活用しながら進めていく



山田直志議員

に、広報誌や町ホームページ、職員が直接個別訪問するなどして啓蒙活動を実施している。

### ▽住宅耐震化の推進

問 熊本地震等の最大の教訓は、住民の命や暮らしを守るために、住宅の耐震化を進めることである。町として住宅の耐震化に対する施策と姿勢は。

町長 町の住宅の耐震化率は、現在65.1%に留まっている。県が推進する「TOKAII」プロジェクトの補助金制度を活用していただくため

### ▽9月11日に発生した火災の対応

問 9月11日に稲取で発生した火災の対応について、消火活動や避難などに課題はなかったか。

町長 消防広域化後初めての火災出動で、広域消防と消防団との情報の共有体制が図れなかった。避難では大きな混乱は無かったが、消防団では周辺住民への周知や状況に応じ避難を促すなどをした。

問 町内会、警察、介護事業所など避難に関連する人達が結集、連携して対応できる場所と体制が必要だと思うか。

町長 火災現場では指揮所ができる。ここに情報を結集して連携できるよう指示を出していく。

### ▽主催・後援事業への町職員の派遣

問 町職員が勤務中にイベントに参加することは、公務員の服務専念義務に反していないか。

町長 イベントへの参加は、勤務として割り振りをしているので反していない。

問 町の後援事業に対して代休・振替休暇によって町職員を動員しているが、なぜ動員するのか。

町長 後援については、町の方針に合致したものにしている。町の活性化のためイベントが軌道に乗るまでは応援したい。

問 平均的な職員の休日出勤手当はいくらか。

町長 平均年齢43歳で、1時間あたり2746円。

問 後援をするかしないかの基準が定められているのか。

町長 基準は作って対応したい。町職員を手足のように使っていると思われたことは遺憾です。

### ▽起業に失敗した人にも支援を

問 空き家の活用、起業支援、UIJターン事業、移住定住者への支援の状況は。

町長 空き家の登録数住宅建業者と連携することによって増えてきている。UIJターン事業は町商工会が行っている。移住定住事業では住宅取得に対して助成をする予定。

問 当町で実際にかかる費用と、周辺市町の支援策はどうか。

色や習わし等は伝えていけるが、ルールというような強制力をもったものを課すことはしていない。町内会への加入については、お願いをしているが、強制はできないのである。町内会へ加入すれば、地域住民との生活が円滑になるよという助言はしている。